

ファームウェアに関する注意事項(1)

– **ES910** をターゲットハードウェアとする場合

- INCA との互換性の関係上、INTECRIO V4.0より ES910 用のコンパイラに新しいバージョンが採用されました。この新規コンパイラバージョンは、従来の INTECRIO で利用されていたコンパイラとの互換性がありません。
- そのため、INTECRIO V4.0以降でES910を利用する場合、ES910のファームウェアをHSP V9.4以上でアップデートする必要があります。
- また、HSP V9.4以上でアップデートされたES910は起動に<10sが必要となります(ES910ユーザーズガイド6.3.1章‘起動の所要時間’項目を‘<5s’から‘<10s’と訂正してください)。

- INTECRIO V3.2以前のバージョンで構築されたモデルをINTECRIO V4.0以降で利用する場合、INTECRIO V4.0で再度ビルドを行い、新規ファームウェア用に実行イメージの再構築が必要になります。

- この注意事項はES1000システムをターゲットハードウェアとした場合は該当しません。

– INTECRIO、HSPとターゲットハードウェアとの互換性は以下のようになります。

HSP バージョン	ES910		ES1000	
	～INTECRIO V3.2	INTECRIO V4.0～	～INTECRIO V3.2	INTECRIO V4.0～
～V9.3	○	×	○	○
V9.4～	×	○	○	○

– 表内に×の付いている組み合わせでは、ES910へのダウンロード時にエラーが発生します。この場合、ES910のファームウェアのHSPバージョンを確認するようにしてください。

– INTECRIO V4.0以降でES910をターゲットとした場合、対応する他のETAS製品は以下のようになります。

– INCA/INCA-EIP V6.2.1またはV7.0

– INTECRIO V4.0以降でES1000をターゲットとした場合、対応する他のETAS製品は以下のようになります。

– INCA/INCA-EIP V5.4.0以上